

授業概要

本講義では、教育法Ⅰにおける中学校社会科及び高等学校地理歴史科に関する理論的・実践的な課題を踏まえて、それらの教科・科目を実践するための社会科教師としての資質を養うことを目的とする。具体的には、次の三つのパートから講義及び模擬授業実践・検討を行う。パート１では、教育法Ⅰの理論的・実践的な課題を振り返るとともに、中高社会科教師と教科書の関係性、教材研究や生徒にとっての「身近さ」について検討する。パート２では、学習指導要領と授業づくり・学習評価の関係について新学習指導要領や学術的な知見を踏まえて検討する。パート３では、実際に学習指導案を作成し、自らの授業観を表現していく。パート４では、模擬授業実践・授業検討会を通して、指導計画と実際の授業の違いについての気づきを体感し、また授業改善への手がかりやヒントについて議論していく。

授業計画

第 1 回	地理歴史教育の今日的意義——教育法Ⅰのふりかえり①
第 2 回	中学校社会科・高等学校地理歴史科の教科書比較——教科書執筆者の教育観を読み解く
第 3 回	教材研究と「身近な」地域の調査——生徒のレディネスと地理認識・歴史認識
第 4 回	学習指導要領と授業づくり・学習評価①——「資質・能力」と「見方・考え方」
第 5 回	学習指導要領と授業づくり・学習評価②——形成的評価とカリキュラム
第 6 回	学習指導案の作成①——目標・評価と単元計画
第 7 回	学習指導案の作成②——授業計画と学習内容・学習方略
第 8 回	学習指導案の作成③——「評価テスト」の再定義
第 9 回	模擬授業と授業検討会①——中学校社会科地理的分野・中学校社会科歴史的分野
第 10 回	模擬授業と授業検討会②——高校地歴科地理総合・高校地歴科歴史総合
第 11 回	模擬授業と授業検討会③——高校地歴科地理単元
第 12 回	模擬授業と授業検討会④——高校地歴科日本史単元
第 13 回	模擬授業と授業検討会⑤——高校地歴科世界史単元
第 14 回	模擬授業と授業検討会⑥——高校地歴科地球世界の課題単元
第 15 回	授業観の再構成と社会科教師の専門性——指導計画と実際の授業のふりかえり②
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・地理歴史教育に関する理論と実践の検討を踏まえて、自らの授業観を学習指導案に表現することができる。
- ・中学校社会科及び高等学校地理歴史科の趣旨を踏まえて、社会科授業を実践・検討することができる。

履修上の注意

本講義は、中学校社会及び高等学校地理歴史科に関する教育法Ⅱの講義である。社会科・地理歴史科教育法Ⅰを受けていることが前提となる。

なお、教材研究や授業準備をはじめ、大学の教室外での調査をすることも考慮しておいてください。

予習・復習

講義の中で紹介する文献を読んだり、複数の教科書を比較・検討して教科の内容の全体像や教科書会社の見方を捉えたり、また、実際の授業づくりのための教材を収集・整理したりして学修を進めながら、教育実習や実践に向けて準備してほしい。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・学習指導案：30%
- ・模擬授業・授業検討会における活動とコメントペーパー：30%

テキスト

テキスト：文部科学省（2018）『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編』東洋館出版社。
 文部科学省（2019）『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 地歴歴史編』東洋館出版社。
 参考文献：原田智仁（2017）『平成 29 年版中学校新学習指導要領の展開』明治図書。
 原田智仁（2019）『平成 30 年版学習指導要領改訂のポイント 高等学校地理歴史・公民』明治図書。
 社会認識教育学会（近刊）『中学校社会科教育・高等学校地理歴史科教育』学術図書出版社。